発行：ひたちなか市の環境を良くする会
編集：広報委員会
住所：〒312-0032
ひたちなか市津田 1927-12
会長　渡　辺　　寔

環境かわら版

環境四季時計「冬祭り」を開催します

ひたちなか市の環境を良くする会主催の『環境四季時計』第三弾として、ひたちなか市環境シンポジウム～テーマ「～」としているひたちなか」をワークプラザ勝田多目的ホールにて開催いたします。

シンポジウムでは、小・中学校、団体、企業による環境活動の発表や、来場者の皆様と一緒に楽しめるアトラクションを企画しておりますので、ひたちなか市の環境を考えるいい機会として、皆様ぜひ、ご来場ください。お待ちしております。

昨年度の発表の様子

ボ～ン、ボ～ン、ボ～ン・・・季節は流れ冬の訪れです。今年度から始まった『環境四季時計』も夏、秋に続き3回目の「冬祭り」がやって来ます。寒い冬ですが、心がホカッと温かくなるような楽しいひとときにしようとただいま企画中です。

環境活動の発表は、小・中学校から、外野小学校、勝倉小学校、阿字ケ浦中学校、地域団体からは、生活クラブ生協ひたちなか支部、企業からは、シナリー櫻季（株）のみなさんに発表をしていただきます。

地元でこんなにいいことしている仲間がいる!って、きっとうれしくなりますよ。元気や素敵な未来をつくるヒントがもらえるかもしれません。発表を見て質問があったら、パネルディスカッションのコーナーでどうぞ。

そして今年度も会場の皆様と全員で盛り上がるアトラクションもあります。昨年度は、「環境○×クイズ」で環境の事を学びながら、豪華景品ゲットを目指してがんばりました。特に親子で参加され、協力しながら回答する姿が微笑ましかったです。今年度は何かな…どうぞ、お楽しみに。

では、1月21日（土）午後1時30分から、ワークプラザ勝田でお会いしましょう。

昨年度の○×クイズ

環境講座「やっかいな放射線と向き合う」を開催します!

放射線の基礎や現状について話を聞きながら、今後の行動の仕方や危機管理について、みんなで考え話し合ってみませんか

●日時＝平成23年12月17日（土）午後1時30分～4時30分
●場所＝ワークプラザ勝田大会議室　●参加料＝２００円（資料代）
●講師＝茨城大学有志の会　中川尚子先生
●申込先＝担当・栗田　TEL０２９-２６３-６０２０

ひたちなか市の環境を良くする会ブログ　http://blogs.yahoo.co.jp/hitachinaka_kankyou_yokusuru

～　会員を募集しています　～

会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方（個人又は家族）。市内で活動している団体、事業所。
年会費（１口以上）個人・家族会員５００円／口　団体会員１,０００円／口　事業所会員２,０００円／口

『**ひたちなか市の環境を良くする会**』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にする心を育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。

具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の３つの分科会が中心となっています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす

ごみ問題分科会

製造堆肥の品質検査へ
家庭生ごみの回収計画へ
堆肥化作業の参加者大募集

ひたちなか市の環境を良くする会設立以来、大きな課題として「ごみ問題」「温暖化防止」「自然環境保全」などの啓蒙と実践をして参りました。その中に、ごみ焼却費用に大きな負担をかける「生ごみ」焼却量の削減について取り組んで第一段階が終了に向かっており、この度、第二段階に入ります。

ごみ焼却費用軽減に寄与すると考えられる「生ごみ削減循環型社会」のシステム構築を目指し検討を重ねて参りました。有効な手段として「家庭から生ごみを出さない」「生ごみを土に還す」「生ごみを堆肥化する」等の議論の末「生ごみの堆肥化」の実験を始めました。

学校給食残渣を堆肥へ

学校給食残渣を堆肥へ

「生ごみの堆肥化」は他自治体での実施例も多いですが、「まちづくり基本条例」を参照し行政との協働を進め、第一段階の学校給食残渣の堆肥化実験を行なっています。製造された堆肥の品質検査を来月以降に行い、その結果を基に改善・改良を行なう予定です。

また、来年度の早い時期から「家庭生ごみの堆肥化」の実験を開始したいと計画中です。

これらの取組みに参加・協働して頂ける方を大募集中です。市民の皆様の参加をお待ちしております。

（連絡先：北島分科会長　TEL　２７４－０１４６）

活動のようす

温暖化防止分科会

フードマイレージ講座開始へ

食材の輸送にかかるエネルギーを減らすことができるという考えのもと、輸入食品に頼らず地元で取れた食材を使う地産地消を地域の皆さんに知っていただくために、「フードマイレージ講座」の研修会を実施してきました。この度、研修会を終了し講座受付の準備が出来ました。今後は、講座受付のPRを進めていきます。

夏本番に向け「地球温暖化防止・節電啓発街頭キャンペーン」のビラ配布を勝田駅前で実施しました。

フードマイレージ講座

合わせて県主催の「大好きいばらきエコチャレンジ２０１１」に、分科会として８名で参加し、電力使用量１５％節電を目標にチャレンジしました。結果平均17％を達成し満足できる成果を上げることができ、やればできるという自信がつきました。今後、冬に向かいワットチェッカー（消費電力量計測器）を利用し、さらに節電を目指し分科会として温暖化防止に努力していきます。

また、節電の仕方についてはいろいろ報告されていますが、これらをまとめてワットチェッカーの活用に役立てていただけるようにしていきます。

なお、ワットチェッカーは市より無料で借用できます。環境保全課にお問い合わせください。

エコドライブ講習は、今回で全員が終了し、その講習で学んだことを活かしてエコに努めていきます。

会員の連携を図るため、毎月第4木曜日を定例会と定めました。分科会を発展前進して行きます。皆さんのご参加をお願いします。

温暖化防止啓発街頭キャンペーン

活動のようす

自然環境分科会

風致地区の環境整備開催

10月16日（日）、23日（日）に市内美田多の風致地区内にある竹林の整備を昨年に続けて実施しました。

本年度整備予定面積の５％程度しか達していませんが、１００％達成に向け、会員に限らず市民の皆様の力をお借りしたいと思っています。

来年の３月まで毎月第３土曜日に活動する予定を組むつもりです。整備の際の竹材や春先の筍を自由に持ち帰れます。

整備した竹林は、光が通って清々しいものです。会員の皆様や市民の皆様が奮って参加されますよう期待しています。

風致地区の環境整備

コマツ茨城工場フェアへの参加

10月30日（日）ひたちなか市の環境を良くする会の事業所会員である、小松製作所（株）茨城工場において、『２０１１コマツ茨城工場フェア』が開催されました。

当日は、秋晴れのもと約１万人もの方が参加するビックイベントでした。ヒーローショーを始めオリンピックを目指すコマツ女子柔道部による柔道教室、大型重機の試乗会は子供たちに大人気で、家族で楽しい一日を過ごされていました。

当会は「～　∞」としているひたちなか」をテーマに、樹木の葉を利用した「葉っパウチ」と、自分専用のコースター作りが皆さんの関心を集め、多くの方とふれあうことができました。

コマツフェア出展ブース

消費生活展への参加

11月5日（土）、6日（日）の両日開催された産業交流フェアと同時開催の、第18回みんなの消費生活展に参加しました。

環境アンケートには延べ９００を越える回答を頂き、関心事第１位は「省エネ・節電」、日頃行なっている取組第１位は「リサイクル・資源回収」でした。この貴重なデータを今後の活動に活かし、生活に密着した企画と計画と実行を目指したいと思います。回答をくださった皆様に感謝申し上げます。

両日に渡って行なわれたキャンドル作成には、３００名の子どもたちが楽しそうに取り組んでいました。出来上がったキャンドルにニコニコ顔の参加者は、元気パワー全開でした。

下館から来た来場者からは「このフェアは有名なので来ました。とても楽しいです。凄いです。」との感想を頂きました。

環境四季時計「秋祭り」
『水と土と空気に感謝！』開催される

10月10日（月・祝）12時から文化会館屋外ステージにて環境四季時計「秋祭り」が開催されました。

まず初めに、東石川小学校６年生の安愛梨さんと佐藤健悟さんによる勇壮な太鼓演奏「初切り（しょっきり）」で開幕しました。

太鼓演奏終了と同時に、上空約７キロメーターで粉々に破裂して落下し生分解性する生ゴム製の風船50個を、たくさんの子どもたちと一緒に晴れわたった秋空に放し、オープニングセレモニーを飾りました。

渡辺会長の開会宣言に続き、ワンネス・エコ・ひたちなかによる環境劇「白雪姫のりんご」が上演され、日常生活に潜む身近な電磁波など自然環境の危険の存在と、その回避方法などを可愛く演じました。

環境劇の終了後に、14店のフリーマーケットが開店し３Rの一翼「再利用」、フードマイレージが小さい「地産地消」、安心安全の「有機野菜」「無農薬野菜」と主婦の「力作商品」などで賑わいました。

フリーマーケットの賑わいの中、午後１時からはアマチュアミュージシャン「弾き語りの会」５組によるアコースティックコンサートが開演しました。１曲ごとに大きな拍手と、市内美田多の竹林整備で伐採した廃竹を利用したクラベスの軽やかな連打音が会場を盛上げました。

小学生による太鼓演奏

空に舞い上がる風船

「弾き語りの会」の皆さん

環境かわら版

＝節電にご協力を＝

私たちの家庭では、電気の約７割はエアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの４つに使われています。消費電力量の多い機器にきちんと対応することが、節電・省エネ効果を高めるポイントになります。

第１位	エアコン	25.2%
第２位	冷蔵庫	16.1%
第２位	照明器具	16.1%
第４位	テレビ	9.9%
第５位	電気カーペット	4.3%
第６位	温水洗浄便座	3.9%
第７位	衣類乾燥機	2.8%
第８位	食器洗い乾燥機	1.6%

- ●エアコン　冬場の設定温度は２０℃
- ●冷蔵庫　設定を「強」から「中」へ
- ●照明器具　点灯時間を短くする
- ●テレビ　音量や画質を調節する

※無理のない範囲で節電をお願いします

編集者だより

『伝えられたり、伝えたり』

年の瀬、年末、慌ただしい12月になった。大掃除、忘年会、クリスマス、家庭内での阿吽の呼吸で出来ること、会社や職場で計画や指示に由って適確・効率的に出来ること。

いずれにしても目的を一にした家族や集団や組織が繰返し経験をしてきた積み重ねが事をスムーズになせることなのでしょう。

小生も縁あって幾つかの「まちづくり」グループに参加させて頂いているが、会議とかミーティングとかでの議論では、限られた時間内に伝えることの難しさと、限られた時間内に伝えて頂く事の不確実さに不安を抱いてしまう。

限りある時間内に的確に伝え、意見を頂き、議論するのに必要な技術に磨きをかけたいものだ。

「伝えたり伝えられたり」する練習の場を得ることが出来たらいいな、と思う年の瀬である。（若林）

『初冬に思う』

紅葉の季節も過ぎました。震災で故郷を失った方、故郷に帰れない方、また大切な人を亡くされた方々は、今年の紅葉をどんな思いで眺めておられただろうと思うたびに心が痛みます。

あの色とりどりの秋の風情が、心に暖かい日溜りをつくってくれるよう願うばかりです。（渡辺祥子）